

全国ランニング大会 100 撰に 2 年連続選出
2020 スポニチ いわて奥州きらめきマラソン
 ▲大会運営ボランティアTシャツ (イメージ)

エントリーの締め切りまであとわずか!

オリンピックに2大会(アテネ、北京)連続で出場した名ランナーである、土佐礼子さんがゲストランナーに決まりました。大会当日はフルマラソンコースの一部を走りながら参加ランナーにエールを送ります。ランナーエントリーの締め切りまであとわずか。申し込みをお忘れなく!

■問い合わせ・申込先=いわて奥州きらめきマラソン実行委員会事務局(江刺総合支所内・☎ 34-2498)

【ゲストランナーは土佐礼子さん】



愛媛県松山市出身。2001年エドモントン世界陸上銀メダル、2004年アテネオリンピック5位入賞、2008年北京オリンピック出場。現在は三井住友海上陸上部でプレーイングアドバイザーとして活躍中。

【エントリーは2月20日(日)まで!】

フルマラソン、10km、2kmの全種目でエントリーを受け付けています。申し込み方法は大会ホームページをご覧ください。

【求む! 大会運営ボランティア】

きらめきマラソンはボランティアの皆さんに支えられて開催しています。申し込み方法は大会ホームページをご覧ください。※3月31日(日)まで期間延長

最新情報はここから ⇒ 大会HPアドレス <https://oshukirameki.jp> **きらめきマラソン** **検索**



<今月の表紙>

**奥州食の黄金文化祭 2020
 ~第6回おやつフェスティバル~**

1月25日、プラザイン水沢を会場に第6回おやつフェスティバルが開催されました。市内の菓子店や産直などが、市産食材を使った自慢のおやつなどを販売。会場は甘い香りとおやつを求める人であふれました。写真は大人気のおやつ作り体験の一つ「鬼のチョコバナナ作り」。楽しそうな子どもの笑顔に、周りの人たちもほほ笑んでいました。

Public Relations Magazine Oshu City
 2020.2 Vol.168
**広報おうしゅう
 令和2年2月号**

CONTENTS

- 2 キラリ輝く奥州人
- 3 2020 スポニチいわて奥州きらめきマラソン
 インターハイ開催に向けたご支援を
- 4 【特集】協働による公共交通のまちを目指して
- 8 健康こども部を新設します~市の組織を一部変更~
- 9 4月から地域包括支援センターの窓口が変わります
- 10 街diary
- 11 思いをカタチに 地域づくりの輪
- 12 成人式 グラフ
- 14 ILC希望のひかり
- 15 地域おこし協力タイムス
 市長コラム「おうしゅう羅針盤」
- 16 いいとこ、知っとこ おうしゅう
- 17 まなびの里
- 18 もっと安心 ずっとおうしゅう
 はい、こちら総合相談室
- 19 子そだて広場
- 20 インフォメーション
- 24 奥州遺産



インターハイ開催に向けたご支援を

8月に開催される全国高等学校総合体育大会(インターハイ)卓球競技の開催経費が不足しています。

このため市実行委員会では、クラウドファンディング(※)で全国から支援金を募っています。いただいた支援金は、サブアリーナの仮設冷房設備費用などに活用されます。インターハイに参加する選手がベストの力を発揮できる大会にするため、皆さんの温かいご支援をお願いします。

※目的の達成のため、インターネットを通して不特定多数の人から資金を調達する仕組み

クラウドファンディング
 での支援はこちら ▶



■開催経費が不足している背景

通常インターハイは、全国10ブロックの持ち回りで開催しており、令和2年度は北関東ブロック(群馬、栃木、茨城、埼玉)で開催する予定でした。しかし、2020東京オリンピック・パラリンピックの開催に伴い、競技会場や宿泊施設の確保が困難となったことから、全国から開催地を募り分散開催されることになりました。全30競技のうち、分散開催される19競技は、本来の順番ではなく急遽開催が決定したことや、競技によって国や県からの補助金がないことなどから、ほとんどの競技で開催経費が不足しています(奥州市で開催する卓球競技も国・県からの補助金はありません)。

全国高等学校総合体育大会(インターハイ)卓球競技

- 期間: 8月10日~15日(10日は開会式)
- 場所: 市総合体育館(2アリーナ)
- 本庁インターハイ推進室(江刺総合支所・☎ 34-2499)



**キラリ輝く
 奥州人**

ビルルイスさん(51歳)
 =水沢字福原=

**聞いてもらえる
 楽しさと喜び**

「Hello this is Bill Lewis」ラジオから聞こえる低音で張りのある声。市在住外国人の支援のため、市からのお知らせなどを伝える「多言語通信局」で英語を担当しているのがビル・ルイスさんだ。約5分間の放送。前半は決められたテーマを話す。後半には母国アメリカのエピソードなど自分のセンスを加える。東日本大震災や昨年の台風19号の際には、臨時放送でライフライン情報を伝えた。初来日は19歳のころ。ボランティアで英語を教えたのが

奥州エフエム「多言語通信局」は毎週月~金の午後4時半から放送。ビルさんが担当する英語は

「市内の外国人は年々増えている。ラジオが生活の役に立てば「聞いてよ」と言われるとうれしい。ずっと続けていきたい」とビルさん。パーソナリティとして新プロジェクトも考えている。掛かったのがきっかけ。市国際交流協会の活動に積極的に参加してきた。ラジオも同協会から声が掛かった。市国際交流協会の活動に積極的に参加してきた。ラジオも同協会から声が掛かったのがきっかけ。市国際交流協会の活動に積極的に参加してきた。ラジオも同協会から声が掛かったのがきっかけ。



Bill Lewis © 1968年、米ジョージア州生まれ。多言語ラジオ放送でパーソナリティーを務める。何度も出演している胆沢劇場では、今年初めて悪役にチャレンジする。妻と子ども3人の5人家族。